

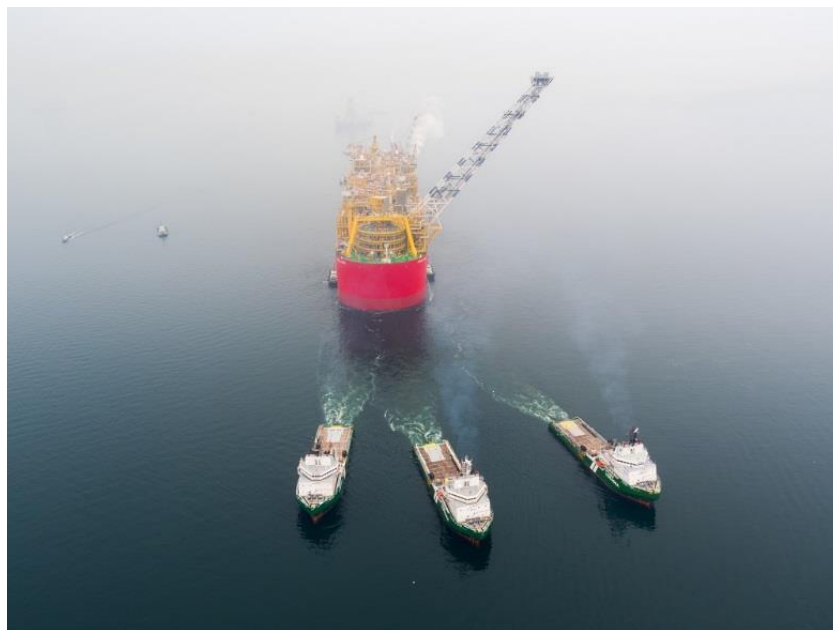
平成 29 年 6 月 29 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア プレリユード FLNG プロジェクトにおける
FLNG 船の出航について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のINPEX Oil & Gas Australia Pty Ltdを通じて、オーストラリア連邦西豪州沖合WA-44-L鉱区にてプレリユードFLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）に参画しておりますが、本プロジェクトの最重要施設であるフローティングLNG（FLNG）船が各種確認作業等を経て、今般プレリユードガス田に向けて建造地の韓国ゴジェを出航いたしましたので、お知らせいたします。



FLNG 船 出航の様子

本FLNG船は、今後、約1カ月かけて西豪州ブルーム市の北北東約475キロメートルの沖合に位置するプレリユードガス田まで曳航され、係留チェーンに固定されます。その後、設置作業や試運転作業等を経て、プレリユードガス田からの生産を開始し、2018年以降の当社業績（キャッシュフロー等）への貢献を期待しています。

本プロジェクトは、当社が参加するプロジェクトの中で、初めてFLNG船を液化施設として使用するLNGプロジェクトとなります。FLNG船によるガス田開発は、陸上に液化施設を建設する

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

開発方式に比べて地域への環境負荷を低減できることに加えて、陸上LNG施設による開発が経済的に困難である中小規模ガス田の開発にも応用できる等、多くの利点があり、将来的には多くのプロジェクトに採用されることが期待されています。

本FLNG船は約488メートル×74メートルと世界最大のFLNG船であり、年間約360万トンのLNG、年間約40万トン（ピーク時）のLPGおよび日量約3.6万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・液化・貯蔵・出荷する能力を有しています。当社は、今後もオペレーターのShell Australia（Shellの子会社）、パートナーであるKogas Prelude Pty Ltd（KOGASの子会社）及びOverseas Petroleum and Investment Corp（OPIC）（台湾中油社（CPC Corporation, Taiwan）の子会社）とともに、本プロジェクトの開発作業を続けてまいります。

以上

【本プロジェクトの概要】

プロジェクト名	プレリウドFLNGプロジェクト	
最終投資決定	2011年5月	
当社権益取得	2012年6月	
権益比率	当社	17.5%
	Shell（オペレーター）	67.5%
	KOGAS	10%
	OPIC	5%
当社権益分のLNG販売先*	JERA	56万トン/年
	静岡ガス	7万トン/年
	*2014年5月29日付で公表 http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20140529.pdf	
FLNG船 建設コントラクター	Technip Samsung Consortium（TSC）	

【本プロジェクトの位置図】

